

平成 19 年度第 3 回定例会開会挨拶（平成 19 年 9 月 19 日開催）

平成 19 年度第 3 回定例会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
本定例会は、各会計の決算等を審議する重要な議会であり、議員各位には、活発な討議が展開されますことを願っております。

本日は、又、改選後、議会構成を決める臨時会を経ての初めての定例会でもあります。私ども議員は、選挙戦の中で、選挙公報等で町民に約束いたしました公約を実現するため、積極的な議会活動を実践し、町民の期待と信頼にしっかり応えていかなければなりません。

『開かれた議会』づくりについては、一定の方向性はできたと思っておりますが、まだまだ道半ばであります、今後も尚一層、住民起点の開かれた議会を目指して改革を進めてまいります。

第 2 次地方分権改革の方向性と基本原則も発表されました。福島町も又、近い段階で完全な自治体を目指す地方政府となるべく、「自由と責任」の上で「自立と連携」を考慮し、厳しい判断をしなければなりません。

議会としても、しっかりと対応し、厳しく議会の意志を示していかなければなりません。

そのためにも、『わかりやすく、町民が参加できる議会』『討議をすることができる議会』そして、『町民の皆さんが実感できる政策提言をする議会』を目指してまいりたいと思っております。

お祭りも終わり、秋の色合いとなってまいりました。

朝晩は、徐々に冷えてまいります、出席者各位には、お体ご自愛の上、本定例会の議事運営に協力をいただきますよう、お願い申し上げ開会の挨拶といたします。